

書あり 師あり 友ありて

教育環境の整備について (PART3)

～ 「OHKURA ビクトリーロード」を整備中 ～



学校長 平田 高之
このことについては、すでに「学校だより NO.3・10」で紹介しましたが第3弾です。引き続き、壁・ドアのペンキ塗替えや天井の石膏ボードの張替え作業等は継続的に行っています。これらの作業は外注ではなく用務員が行っていますので実費だけでできています。さらに、学校配当予算を十分活用できるよう、事務職員が市教委に部材費も連絡調整して、別途用立てたりもしています。

今回は、少し前から「OHKURA ビクトリーロード」を整備していますが、生徒たちもあまり分かっていないので特集しました！大阪女子マラソンで、松田選手が、ラスト10キロを東京オリンピックへのビクトリーロードにされました、本校でも、部活動の際に、校舎回りをよく走っていますので、生徒たちが、凸凹でけがをしないように、クッションで膝などを傷めないようにと、用務員・事務職員が中心となり、走路に人工芝を設置しています。しかし、この作業は、人工芝がめっちゃくちゃ重たくて本当に大変な重労働です！先日は、吉川会長にもご協力頂き、ダンプやクレーン付きトラックを使い、明石公園から本校まで搬送しました。人工芝が定着しやすいよう走路を耕し、適切な大きさにしたうえで、砂などを入れ固定していきます。

生徒たちには、このビクトリーロードを感謝の気持ちで走り、心身とも自己を鍛え、6月の総合体育大会で栄光を勝ち取ってほしいと願っています！

※「OHKURA ビクトリーロード」ができるまで



※明石公園テニスコートの張替えで、はがされた人工芝が明石公園に破棄されているので頂きました。



※白黒写真で分かりにくいですが、ホームページはカラー写真なので分かりやすいです。

ユニバーサルデザインのまち（学校）づくり

このことについては、2018年にバリアフリー法が改正され、「共生社会の実現」「社会的障害の除去」に資することが基本理念として明記されました。明石市は「共生社会ホストタウン」に認定され、JR明石駅ホームドアの設置やまちのバリアフリー化、UDタクシーの導入等、誰もが安全で快適に移動しやすく、暮らしやすいユニバーサルデザインのまちづくりを進めています。さらに、バリアフリーに関する方針等を定める「明石市ユニバーサルデザインのまちづくり実行計画」を策定しているところで、2月24日まで、案についての意見募集がされています。詳細は、明石市ホームページをご覧ください。

学校においては、エレベーターやバリアフリースイレの設置、段差の解消等のハード面の充実だけでなく、小学校では手話体験教室の実施、本校では、総合的な学習の時間を中心に、パラリンピック教育教材「I'm possible」を活用した授業やSDGsについて学ぶ授業等を行い、共生社会を実現するための「心のバリアフリー」を推進しようとしています。



本校用務員が作成（本校舎西側）

また、教職員の理解を深めるために、2月5日に「ユニバーサルマナーの授業づくり」について、前明石市教育委員会学校教育課特別支援教育係指導主事・現谷木小学校岡本教頭から指導助言を受けました。さらに、2月21日には「どの子どもも学びやすい授業づくり・クラスづくり」について、桃山学院教育大学松久教授にご来校頂き、講義を受ける予定です。

実は、この「学校だより」も、年末にパソコンが更新されたのを契機に、字体を「MS明朝・ゴシック」等から「UD明朝・デジタル教科書体」等のユニバーサルデザインの字体に変更しました。お気づきになられていましたでしょうか。（例えば「さ」⇒「さ」）また、今の新しい教科書は、多くの教科で、特別支援教育の専門家の監修を受け、ユニバーサルデザインに配慮して作られています。教科書裏表紙に説明が記載されています。その他、教科書の素材や無償化の意義についても記載されていますので、一度ご覧頂けたらと思います。

新型コロナウイルス対応について

このことについては、連日報道され、ご心配をされている保護者（特に3年生）の方が多いのではないかと思います。養護教諭が本校の学校医と連携し、昨日は「ほけんしつ通信」を発行し、生徒たちに、うがい・手洗い・マスクの着用・不要不急の外出を避ける等の指導をしたところです。

学校としてできる対応として、以下の2点を行いました。

○各HR教室及び南館、本館2・4階、北館3階の廊下にアルボナースを設置

○南館改修工事のために南館特別教室に設置して頂いた空気清浄機を各HR教室に移動

今後、感染の拡大等により状況が異なってくることが考えられますが、市教育委員会と連携しながら対応を進め、HP等で情報提供してまいりますのでご理解賜りますようお願いいたします。